

3月10日：銀行株の上昇でベトナム株は3日ぶりの反発

銀行株、大型株の上昇がマーケットを牽引し、ベトナム株は3日ぶりの反発となった。

ホーチミン市場の主要指数であるVN指数は0.70%高の1,170.08ポイントで取引を終えた。

同指数は前日0.54%安の1,161.97ポイントで取引を終えていた。

売買高は7億2,390万株以上で、売買代金は17兆9,000億ドン（7億7,600万USドル）だった。

値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り、279銘柄が上昇、177銘柄が下落した。

サイゴンハノイ銀行（SHB）+3.2%、アジアコマーシャル銀行（ACB）+2.5%、軍隊商業銀行（MBB）+2.2%、ベトインバンク（CTG）+1.3%といった銀行株は後場にも上昇し、マーケットの追い風となった。

ホーチミン市場の大型株30銘柄に連動するVN30指数は、0.8%高の1,172.26ポイントで引けた。

同指数採用銘柄のうち、25銘柄が上昇、4銘柄が下落した。

カンディエン不動産（KDH）は3%を超える上昇となり、同指数採用銘柄の中で上昇率トップ。次点は軍隊商業銀行（MBB）で2%を超える上昇となった。

FPT（FPT）、ビンホームズ（VHM）、テクコムバンク（TCH）、バオベトホールディングス（BVH）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、ビンググループ（VIC）、サコムバンク（STB）は全て1%を超える上昇だった。

その反面、ペトロベトナムガス（GAS）とペトロリメックス（PLX）が1%を超える下落となった。リー冷蔵電気工業（REE）、ホアファットグループ（HPG）、マッサングループ（MSN）も売られた。

「出来高の減少と値上がり銘柄が値下がり銘柄を上回っていることは、投資家の良好な取引状況を示した」（BIDV証券）

「外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で引き続き売り越した。中小型株へ資金が流入する中、外国人投資家が大型株を引き続き売り越す場合、当社は国内投資家に中小型株の投資比率を高めるよう推奨する」（BIDV証券）

外国人投資家は、ホーチミン市場ではビナミルク（VNM）1,854億ドン、ベトインバンク（CTG）849億ドン、ホアファットグループ（HPG）805億ドンと計4735億6,000ドンを売り越した。ハノイ市場では63億5,000万ドンが売り越された。

ハノイ市場では、HNX指数は0.86%高の267.10ポイントだった。

同指数は前日0.54%高の264.83ポイントで引けていた。

売買高は1億6,320万株以上、売買代金は2兆4,000億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。